

# 前回検討委員会からの整理

---

## ～ 目次 ～

1. 成り立ちや社会ニーズ等を踏まえた課題認識
2. 第1回検討委員会コメントサマリー

# 1 成り立ちや社会ニーズ等を踏まえた課題認識：1階

赤字：第1回検討委員会でのコメント

## 〈都民広場〉

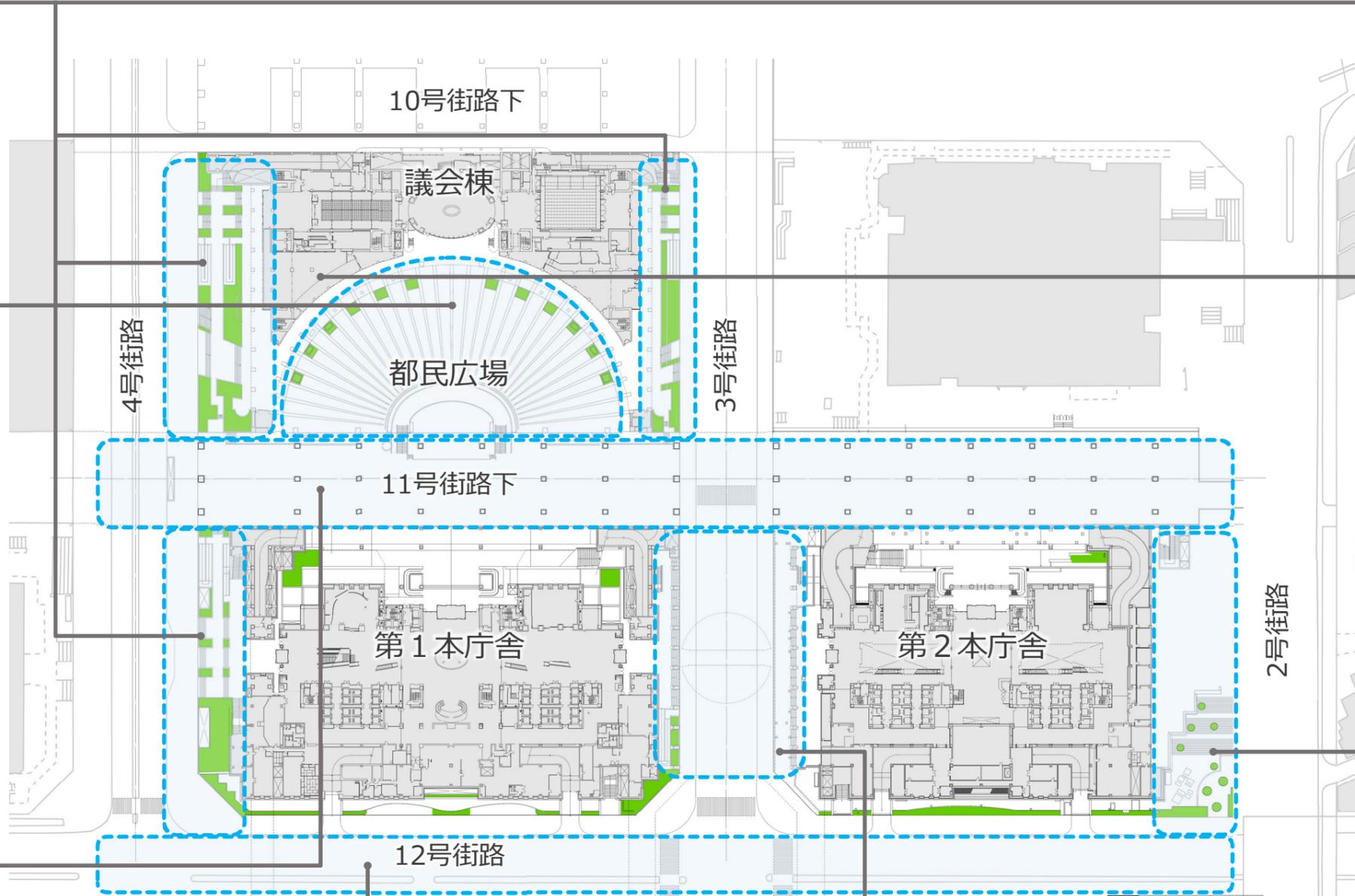
- 気軽に座れるスペースがなく、床も固いなど、**人が憩える場になっていません。**
- 観光客などが都庁舎を背景に撮影スポットとしているが、長く滞在はしていません。
- 広場下（議会棟地下1階）のパブリックスペースに**賑わいが不足しています。**



- **都民広場に椅子や木陰がないことは課題で、どのように作っていくかが論点**であると思う。（坂井委員）
- **広場に賑わいをどう生み出すか**を考えていく必要がある。（田中友章副会長）

## 〈広場と街路の間〉

- 道路の高さから段差があり**アクセスしづらいです。**4号街路から広場への**視認性が悪いです。**
- 道路と庁舎の間にある空間の利用頻度が低いです。
- 第1本庁舎の4号街路沿いには、都庁前駅の出入口（EVルートを含む）が整備されているが、雨に濡れずに都庁へアクセスができません。



## 〈議会棟〉

- レストランや都政ギャラリーがあるものの、**外部から認識しづらいです。**
- レストランと広場の間に**ある半屋外空間が、有効活用できていません。**



- **議会棟の入り口の視認性及びアクセス性を考える必要がある。**（坂井委員）
- **議会棟を中心に低層階の見え方等を検討する必要がある。**（泉山委員）
- **強い目的性のある施設が現在地下にあるということも一つの課題。**（泉山委員）

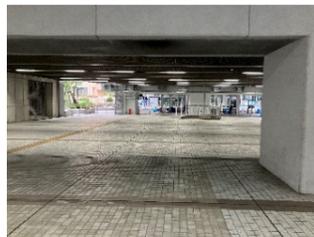
## 〈駐車場〉

- **現在の規模の駐車場は不要ではないか。**（岸井会長）

- 中央公園周辺の居住人口増加や、中央公園の整備により、中央公園を利用する人たちが増えているが、都庁側までは訪れにくいです。

## 〈11号街路下〉

- **人の活動の拠り所となる場がなく、通過するだけの空間**になってしまっています。
- オフィス街や、都庁前駅から都庁へ来る人、4号街路から南側街区へ歩く人など人の往来はあるが、暗く雰囲気が悪いです。
- **11号街路下は本当に暗く、一人で通行するには不安を感じる。**（田中里沙委員）



## 〈12号街路〉

- **4号街路との交差点付近に新宿中央公園へ渡るための横断歩道がないです。**



## 〈3号街路（ふれあいモール下）〉

- 暗く雰囲気が悪いです。



## 〈二庁南側〉

- 昼間は昼食をとっている人が多いが、昼食時以外での利用は多くありません。



## 〈ふれあいモール〉

- 昼間は昼食をとっている人が多いが、昼食時以外での利用は多くありません。
- 日除けやテラス席がないなど、人々が落ち着いて交流できる場として活用しきれていません。



## 〈11号街路上〉

- 11号街路上と高架下をつなぐ階段位置が認識しづらいです。
- 階段を登った付近に横断歩道が無く、新宿中央公園までのアクセスが不便です。



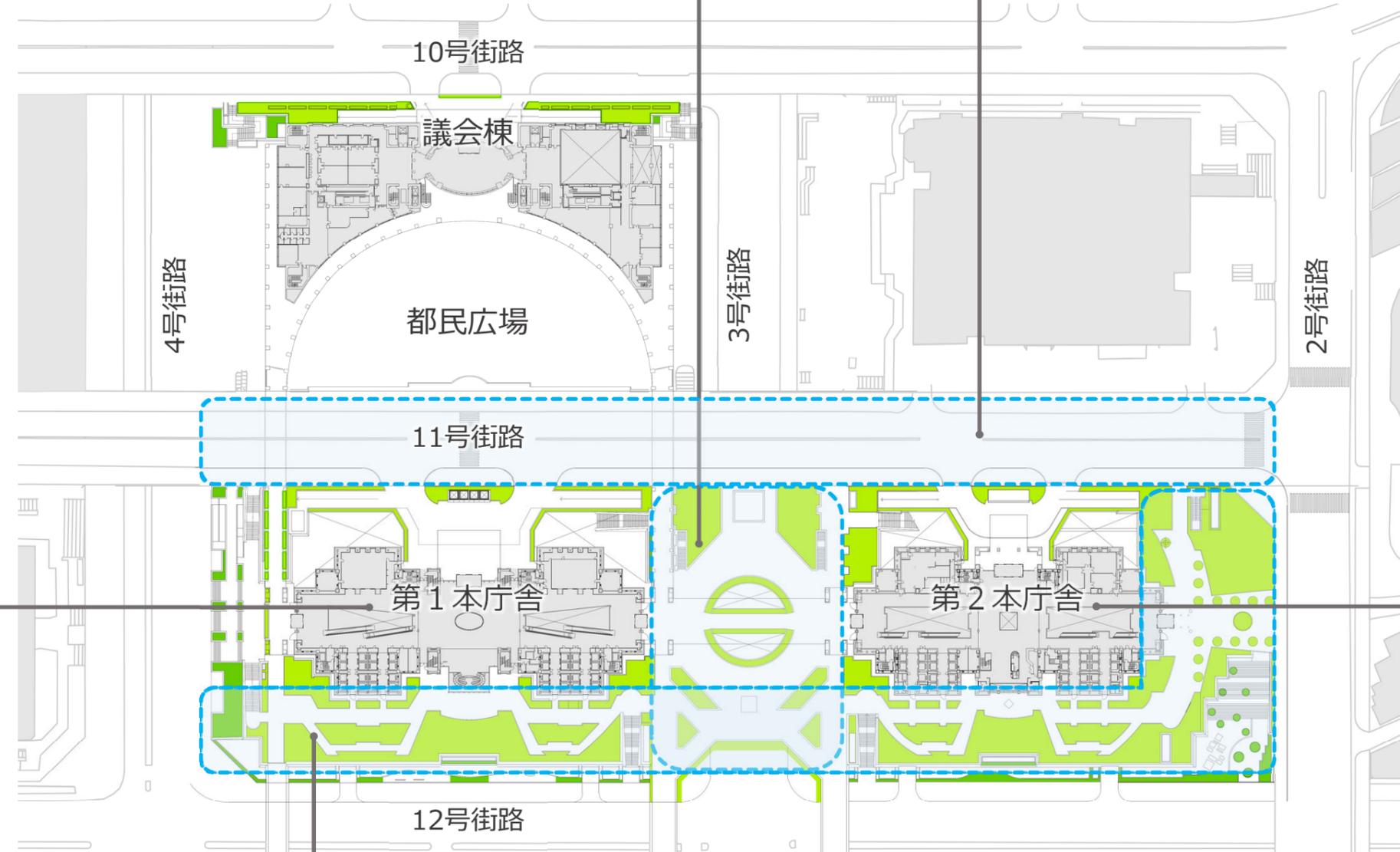
## 〈第一庁舎内〉

- 展望室は多くの外国人観光客が訪問しているが、それ以外のスペースはあまり利用していません。
- 建物内には人がいるが、滞在しやすい設えになっていません。



## 〈第二庁舎内〉

- 建物内に人はいるが、滞在しやすい設えになっていません。



## 〈西側（公園側）・南側の空地〉

- 開口部は多々あるが、非常口として閉じられており、庁舎内外が一体的に利用されてません。
- 緑は豊かだが、画一的な植栽で、あまり魅力的ではありません。
- 新宿中央公園側の賑わいとの連続性が感じられません。
- 二庁側の連絡橋は中央公園と接続されておらず、中央公園へのアクセスが不便です。
- 広い屋外空間が整備されているが、植栽等により、人が立ち入れたり活動できるスペースが限られてしまっています。



## 〈周辺部〉

- 物流トラック等、景観的にあまり好ましくない要素をどのように制御し、アクセスできるようにするかを考える必要がある。（田中友章副会長）
- 新宿中央公園やその西側、都庁周辺の民間街区等との連続性も含め議論できると良い。（新宿副都心エリア環境改善委員会）

## 2 第1回検討委員会コメントサマリー

### ○都庁の在り方に関する主なコメント

- ・ 「自然」「環境」といったキーワード。「参加」の機運も高まっている中、都庁は何を社会に訴えていくのか考える必要がある（岸井会長）
- ・ 外国人はSNS等を通じて自主的に世界へ発信する。そのような外国人に対して、東京都のメッセージを発信していく必要がある（岸井会長）
- ・ どのようなものがユニークベニューになり得るのかを考え、都庁周辺にしかない価値や魅力を利用者に発信していくことも重要である（田中友章副会長）
- ・ 「東洋の中で一番を目指す」（田中友章副会長）
- ・ 「新しいライフスタイル」の1つとして、都庁職員がもっと外に出て、流動的に仕事ができることが重要（泉山委員）
- ・ 「Try」は新しいことを試みて、新しいものに出会えるという意味合いが強い中、「Try」の部分を深堀することがソフト面におけるチャレンジになる（田中里沙委員）
- ・ 新しい東京の風景を一緒に作っていくというメッセージを発信し、今後の活動に都民の方に多く参加してもらえらるきっかけをつくっていけると良い。（田中里沙委員）
- ・ 社会の中にデジタルサービスを普及させ、街が変わっていくことをイメージ（デジタルサービス局 つながる東京整備担当部長）

### ○都庁周辺外部空間に関する主なコメント

- ・ 現在の規模の駐車場は不要ではないか（岸井会長）
- ・ 都民広場の賑わいをどう生みだすかを考えていく必要があり、都庁舎とうまく折り合うものを考えていかなければいけない（田中友章副会長）
- ・ 景観的にあまり好ましくない要素をどのように制御し、アクセスできるようにするかを考える必要がある（田中友章副会長）
- ・ 都民広場は、もう少し緑を植えて、木陰を作ると良い（坂井委員）
- ・ 11号街路に穴を開けて、光窓のように光を入れることができないだろうか（坂井委員）
- ・ 都民広場が屋根の無い広場でいいかは議論すべき点（泉山委員）
- ・ 「クリエイティビティ」を発揮するためには、人工物と自然を往還することが重要（田中里沙委員）
- ・ 11号街路下は、プロジェクションマッピング等により歩行者の動きに呼応するような仕掛けができると、SNS等で発信・話題になるのではないか（田中里沙委員）
- ・ 都庁街区のみに留まらず、まち全体とどうつなげるかが大事である（新宿副都心エリア環境改善委員会 技術担当理事）

### ○都庁建物に関する主なコメント

- ・ 庁舎を訪れた他の自治体職員や事業者が働ける・過ごせる場所や、ワーカーと仕事以外の目的で訪れた人のための場を住み分けるか、同じ場を共有するか等も考えられると良い（田中友章副会長）
- ・ 議会棟のレストランをどのようにオープンにしていくかは重要（坂井委員）
- ・ 議会棟の入り口の視認性及びアクセス性を考える必要がある。議会棟の中のアクティビティを外にどう繋げるかが重要（坂井委員）
- ・ 議会棟を中心に低層階の見え方等を検討する必要がある（泉山委員）
- ・ 強い目的性のある施設が地下にあるということは課題（泉山委員）
- ・ 展望施設だけに頼りすぎずに、来街者が都庁周辺を訪れる目的となる施設をつくっていくべき（泉山委員）